

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 6 部門第 2 区分
【発行日】 令和 7 年 4 月 4 日(2025.4.4)

【公開番号】 特開 2023-140446(P2023-140446A)
【公開日】 令和 5 年 10 月 5 日(2023.10.5)
【年通号数】 公開公報(特許)2023-188
【出願番号】 特願 2022-46291(P2022-46291)
【国際特許分類】

G 0 3 B 19/06(2021.01)

10

G 0 3 B 35/00(2021.01)

G 0 3 B 17/14(2021.01)

G 0 3 B 17/00(2021.01)

G 0 3 B 7/091(2021.01)

G 0 3 B 13/36(2021.01)

G 0 2 B 7/28(2021.01)

H 0 4 N 23/741(2023.01)

H 0 4 N 23/55(2023.01)

【F I】

G 0 3 B 19/06

20

G 0 3 B 35/00

G 0 3 B 17/14

G 0 3 B 17/00 Q

G 0 3 B 7/091

G 0 3 B 13/36

G 0 2 B 7/28 N

H 0 4 N 5/235500

H 0 4 N 5/225400

【手続補正書】

30

【提出日】 令和 7 年 3 月 19 日(2025.3.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の絞りを含む第 1 の光学系と、

第 2 の絞りを含む第 2 の光学系と、

40

前記第 1 および第 2 の絞りの駆動を制御する制御手段とを有し、

前記第 1 および第 2 の光学系のそれぞれの光軸は互いに一致しておらず、

前記制御手段は、前記第 1 および第 2 の絞りの絞り値を互いに異ならせるように前記駆動を制御することを特徴とする光学機器。

【請求項 2】

前記制御手段は、動画撮像中に前記絞り値の差を変化させることを特徴とする請求項 1 に記載の光学機器。

【請求項 3】

前記第 1 および第 2 の光学系のそれぞれは、フォーカシングに際して移動するレンズを含むことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の光学機器。

50

【請求項 4】

前記制御手段は、前記第 1 の光学系がフォーカシングの基準であるか否かを判定すること
を特徴とする請求項 3 に記載の光学機器。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記第 1 および第 2 の光学系のうちフォーカシングの基準となる一方に
おける前記絞り値が他方における前記絞り値よりも小さくなるように前記駆動を制御する
ことを特徴とする請求項 3 または 4 に記載の光学機器。

【請求項 6】

前記制御手段は、前記絞り値の変化に対するピント移動量に関するデータに基づいて前
記他方における前記レンズの位置を補正することを特徴とする請求項 5 に記載の光学機器
。

10

【請求項 7】

前記制御手段は、前記第 1 および第 2 の光学系における前記レンズの位置を互いに異なら
せるように該レンズの移動を制御することを特徴とする請求項 3 から 6 のいずれか一項に
記載の光学機器。

【請求項 8】

撮像装置に着脱可能であることを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の光学
機器。

【請求項 9】

前記第 1 および第 2 の光学系を介して撮像を行う撮像素子を有することを特徴とする請求
項 1 から 7 のいずれか一項に記載の光学機器。

20

【請求項 10】

前記第 1 の光学系を介した撮像により生成された第 1 の動画データと前記第 2 の光学系を
介した撮像により生成された第 2 の動画データとを用いて、該第 1 および第 2 の動画デー
タのそれぞれよりもダイナミックレンジが広い動画データを生成する処理手段を有するこ
とを特徴とする請求項 9 に記載の光学機器。

【請求項 11】

第 1 の絞りを含む第 1 の光学系と、第 2 の絞りを含む第 2 の光学系とを有する光学機器の
制御方法であって、

前記第 1 および第 2 の絞りの駆動を制御するステップを有し、

30

前記第 1 および第 2 の光学系のそれぞれの光軸は互いに一致しておらず、

前記ステップにおいて、前記第 1 および第 2 の絞りの絞り値を互いに異ならせるように
前記駆動を制御することを特徴とする制御方法。

【請求項 12】

請求項 11 に記載の制御方法に従う処理をコンピュータに実行させることを特徴とするプ
ログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

40

【補正の内容】

【0007】

本発明の一側面としての光学機器は、第 1 の絞りを含む第 1 の光学系と、第 2 の絞りを
含む第 2 の光学系と、第 1 および第 2 の絞りの駆動を制御する制御手段とを有する。第 1
および第 2 の光学系のそれぞれの光軸は互いに一致しておらず、制御手段は、第 1 および
第 2 の絞りの絞り値を異ならせるようにこれらの駆動を制御することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【0010】

【図1】実施例1の交換レンズを含むカメラシステムの構成を示すブロック図。

【図2】実施例1における処理を示すフローチャート。

【図3】実施例1における絞り値の設定とフォーカス動作を説明する図。

【図4】実施例1におけるフォーカス処理を示すフローチャート。

10

20

30

40

50